

住友化学 News Release

2019年7月22日

SDGsに貢献する「スマカ・サステナブル・ソリューション」 4製品・技術を新たに認定

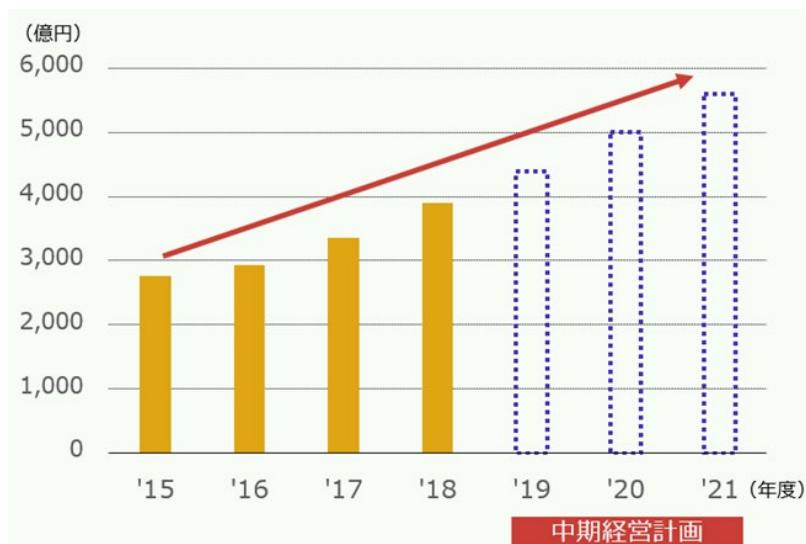
住友化学は、今回で4年目となる持続可能な社会の実現に向けた取り組み「スマカ・サステナブル・ソリューション」において、新たに4つの製品・技術を認定しました。これにより、認定製品・技術数は48、売上収益は約3,800億円（2018年度）となりました。

今回認定されたのは、高出力なニッケル水素電池の設計を可能とし、環境対応車の普及に貢献する「コバルトコート水酸化ニッケル正極材」や、軽量で丈夫、かつリサイクルやリユース性に優れることから食品容器や電子部品の搬送資材などに使用される「ポリプロピレン多目的シート」、火力発電所の排出ガスから炭酸ガス（CO₂）を分離回収し、再利用する「炭酸ガス分離回収技術」など、主に住友化学のグループ会社による製品・技術です。

住友化学は、本年3月、経済価値と社会価値をともに継続的に創出するため、経営として取り組む7つの最重要課題（マテリアリティ）を特定し、その一つに、環境負荷低減への貢献を掲げています。「スマカ・サステナブル・ソリューション」は、温暖化対策や環境負荷低減などに貢献する当社グループの製品・技術を認定し、その開発や普及を促進する取り組みで、マテリアリティに通じるものです。新中期経営計画の最終年度である2021年度までに、認定製品・技術により、5,600億円の売上収益を目指しています。

住友化学は、総合化学メーカーとしてこれまで培ってきた多様な技術を生かし、引き続きグループ全体で、持続可能な社会に貢献するソリューションの創出に取り組んでまいります。

＜ご参考＞ 「スマカ・サステナブル・ソリューション」認定製品・技術の売上収益



「スマカ・サステナブル・ソリューション」に新たに認定された製品・技術

ソリューション	特徴	SDGs への貢献
コバルトコート 水酸化ニッケル正極材 (株)田中化学研究所	 高出力なニッケル水素電池の設計を可能とし、環境対応車の普及に貢献。コバルトの使用量も削減できる	 
ポリプロピレン 多目的シート (住化プラスチック株)	 紙粉防止とリユースの観点から食品容器や電子部品の搬送資材などに使用され、温室効果ガス排出量の削減に貢献	 
炭酸ガス分離回収技術 (住友共同電力株)	 住友共同電力の火力発電所の排出ガスから炭酸ガス(CO ₂)を分離回収し、住友化学の愛媛工場にて化学品製造に副原料として利用。CO ₂ の排出量削減に貢献	
脱アンモニア塔を 利用した排水処理技術 (住友化学株)	 排水からのアンモニアの除去・回収・再利用を実現。工場からの窒素排出量の削減に貢献	

* CO₂ 分離回収技術は日鉄エンジニアリング株式会社が開発

「スマカ・サステナブル・ソリューション」は、7月31日に発刊予定の統合報告書「住友化学レポート2019」にも掲載予定です。

https://www.sumitomo-chem.co.jp/ir/library/annual_report/

以上